

# ながひさ



## 「新年度のスタートにあたり」

笠井 修

令和二年度がスタートしました。新型コロナウイルス感染症予防のため、どのようなスタートとなるのか不安でしたが、始業式の日には二年生から六年生の一四六名全員が元気に登校し安心しました。また、入学式には、二九名の新入生を祝福・歓迎する温かい式を行うことができました。

今年度の担任も決まり、新しくスタートし、誰もがやる気にあふれているのは、子どもたちの表情からも感じられました。入学式の準備や片付けでは、五、六年生が作業の分担に従って、テキパキと行動する姿から、高学年としての自覚を感じました。今年もよきリーダーとして長久小学校を盛り上げてくれることだろうと頼もしく感じました。

始業式では、子どもたちに「主体的・自主的に活動すること（心のコップを上向きに）」「あいさつをしつかりすること」を話しました。

コップは伏せてあるといくら水を注いでも決してたまることはありません。心のコップも同じです。心のコップが伏せてあると先生方の声や友だちの意見は通りすぎていってしまひ、学んだことが少しもたまることはありません。周りの人のせつかくのアドバイスも耳に入らない。下を向いたコップに水を注いでもこぼれるのと同じで、自分に起きたよいことも悪いことも、吸収できない。いつも何かに対して不満を持っていて、考え方が後ろ向きで、やる気が持てないのです。

それに対して心のコップが上を向いている人は、周りの人の話や学んだ内容、自分に起きたよいことも悪いことも、そのコップにどんど

んと注いでいくことができます。コップが上を向いている人は、どんどん成長できるのです。

では、心のコップを上に向けるためにはどうすればいいのかというと、なりたいたい自分、かなえたい夢を持つこと。素直に人の意見を聞くこと。自分から考え、行動し、いろいろなことに前向き挑戦すること。目の前の壁に対しても諦めずに挑戦することです。

次に「あいさつ」についてです。今の自分のあいさつがよく出来ていると思っている児童は全体の五分の一くらいでした。あいさつをレベルアップするために「あ」明るく、「い」いつでも、「さ」最初に（自分から）、「つ」続けて。できるようにしようと話しました。あいさつについては、学校評価でもやや低い評価となっています。自分から進んで明るいあいさつの出来る人は、周りの人の気持ちまで明るくすることが出来ます。そんなあいさつを身につけると、きっと素晴らしい人になることができます。基本的な生活習慣の中でも、まず一番に身につけてほしいものです。保護者の皆様、地域の皆様にも、ご協力いただき、あいさつの上手な長久っ子を育てていきたいと思ひます。

新年度に当たり、子どもたちだけでなく、私たち教職員も新たな気持ちで大切に、自分を磨き高めていく努力を続けていきたいと思ひます。長久小学校の教育活動にご理解、ご協力をよろしくお願ひいたします。

## 令和2年度 入学式

四月九日（木）、元気いっぱいの新入生二十九名を迎え、令和二年度の入学式を行いました。新入生は一人一人が、担任のから名前を呼ばれ、元気よく返事をしていました。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため例年とは違う内容の入学式ではありましたが、二、六年生、保護者の参加のもと温かみのある式となり、無事に式典を終えることができました。



2018年4月9日島根県西部地震により倒壊した二宮金次郎像がこのたび

瓜坂正之様

小倉正敏様

教育後援会様

のご寄附により再建されました。残念ながら感染症対策のためご披露会ができませんでしたので紙面にてご紹介いたします

## 集団下校・SGP出発式

四月十日(金)、SGPの皆さんとの顔合わせも兼ねた、「出発式」を行いました。

SGPの皆さんには、今年度も、一年生が単独で下校する毎週火曜日に、見守っていたく予定です。式では、代表の楫さんのお話を聞いた後、スクールガードの皆さんと教員と一緒に、全校の集団下校を行いました。

地域の見守り隊の皆さまには、登下校時にも各場所での交通指導をしていただいております。SGP、地域の見守り隊の皆さま今年もどうぞよろしくお願ひいたします。



JA 婦人部長久支部の皆さんが一年生と教職員に手作りマスクを作ってくださいました。ありがとうございました！

